

平成20年3月31日  
 厚生労働省食品安全部監視安全課  
 加地 監視安全課長  
 (担当) 宮川、小島(内線 2473、2478)  
 代表 03 5253 1111  
 直通 03 3595 2337

中国産冷凍ギョウザによる健康被害が公表された日(1月30日)以降に  
 都道府県等にあった相談・報告数について  
 (平成20年3月31日15時 時点)

標記について、本日15時までに都道府県等から報告があった件数を別添のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

(概要)

- ・ 中国産冷凍ギョウザを食べて有機リン中毒(メタミドホス)と確定した患者数は10名(千葉県 7名、兵庫県3名)であり、先週の公表から変化はない。
- ・ 中国産冷凍ギョウザによる健康被害が公表された1月30日以降に都道府県等にあった相談・報告については、調査の結果、神経症状などの有機リン系農薬による中毒症状がないことなどにより、全て有機リン中毒が否定されている。
- ・ なお、健康被害を訴えた方から食べた食品の残りの提供を受けている場合は、万全を期するためジクロルボスについても分析を行うよう、2月5日、都道府県等に対して指示している。

有機リン中毒が確定した患者数	有機リン中毒が疑われ、現在調査を行っている事例数	有機リン中毒が否定された事例数
10名*	0名	5,915名

\*:全て1月29日以前に報告のあったもの

(集計方法)

- ・ 報告時点までの相談・報告件数の累計について、都道府県等に記入様式を配布し、返送されたものを単純集計した。

(参考)

- ・ 中国・天洋食品製造冷凍ギョウザから検出されたメタミドホス及びジクロルボスは、いずれも有機リン系殺虫剤であり臨床症状は同じである。

本日をもって、集計を終了します。

中国産冷凍ギョウザによる健康被害が公表された日(1月30日)以降に  
都道府県等にあった相談・報告数について

(平成20年3月31日 15時 時点)

	有機リン中毒が 確定した患者数 <sup>注1)</sup>	有機リン中毒が疑われ、現在 調査を行っている事例数 <sup>注2)</sup>		有機リン中毒が否定された事例数		
		入院あり	入院なし	医療機関の 受診あり <sup>注3)</sup>	医療機関の 受診なし <sup>注3)</sup>	その他 <sup>注4)</sup>
北海道	0	0	0	52	147	52
青森県	0	0	0	36	137	14
岩手県	0	0	0	1	6	5
宮城県	0	0	0	5	18	37
秋田県	0	0	0	7	15	15
山形県	0	0	0	5	5	12
福島県	0	0	0	16	54	45
茨城県	0	0	0	36	114	71
栃木県	0	0	0	19	37	8
群馬県	0	0	0	16	13	46
埼玉県	0	0	0	112	149	64
千葉県	7	0	0	63	148	41
東京都	0	0	0	79	103	376
神奈川県	0	0	0	15	38	117
新潟県	0	0	0	6	16	33
富山県	0	0	0	0	0	2
石川県	0	0	0	7	11	6
福井県	0	0	0	0	1	4
山梨県	0	0	0	7	12	11
長野県	0	0	0	10	4	1
岐阜県	0	0	0	6	6	93
静岡県	0	0	0	15	39	16
愛知県	0	0	0	41	88	19
三重県	0	0	0	3	17	33
滋賀県	0	0	0	21	25	102
京都府	0	0	0	16	37	232
大阪府	0	0	0	68	121	373
兵庫県	3	0	0	45	95	47
奈良県	0	0	0	11	19	70
和歌山県	0	0	0	1	8	12
鳥取県	0	0	0	1	7	0
島根県	0	0	0	0	0	2
岡山県	0	0	0	12	12	2
広島県	0	0	0	20	39	48
山口県	0	0	0	4	2	12
徳島県	0	0	0	8	14	19
香川県	0	0	0	8	12	14
愛媛県	0	0	0	5	8	20
高知県	0	0	0	4	10	11
福岡県	0	0	0	129	206	106
佐賀県	0	0	0	0	0	41
長崎県	0	0	0	19	73	188
熊本県	0	0	0	17	41	48
大分県	0	0	0	27	64	29
宮崎県	0	0	0	15	51	58
鹿児島県	0	0	0	25	61	61
沖縄県	0	0	0	31	117	55
小計	10	0	0	1044	2200	2671
					計 5915	

注1) 次のすべてに該当する事例

- 1) 神経症状などの有機リン系農薬による中毒症状があること
  - 2) 血中のコリンエステラーゼ活性の低下が認められること
  - 3) 吐瀉物または食品等からメタドホスの検出があること
- ※ ただし千葉県のうち2例については、2)は検査未実施であるが、1)及び3)の因果関係が明らかと考えられ、確定とした。

注2) 神経症状などの有機リン中毒を疑わせる症状が認められる事例

注3) 訴えはあるものの、臨床診断や検査結果等により否定された事例

注4) 中国産冷凍ギョウザ等に関連した相談